

優秀生産者表彰・事例発表



令和元年度の優秀生産者に産地を牽引する2個人・2団体を選出し、表彰式を行いました。園芸メガ団地利用組合の吉田洋平代表が優秀生産者を代表して、発足までの流れや組織構成、導入機械などを発表。動画も交えて、スマート農業への取り組み状況も紹介しました。

園芸メガ団地の取り組みを紹介する吉田さん

② 令和元年度優秀生産者表彰受賞者(敬称略)

園芸メガ団地利用組合（男鹿市船越） 03

推薦部門:花き(菊)



斎藤 友紀子（男鹿市北浦） 04

推薦部門:畜産



農事組合法人平沢ファーム（秋田市雄和） 05

推薦部門:経営体

古屋 久勝（秋田市雄和） 06

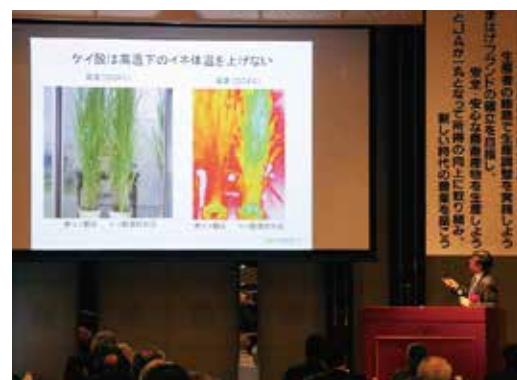
推薦部門:花き(ダリア)

基調講演

秋田県立大学生物資源科学部の金田吉弘学部長を講師に迎え、温暖化が稻作に及ぼす影響や近年の水田土壌の課題などを話題に基調講演を行いました。金田学部長は、土壤酸素の欠乏を防ぎ、ケイ酸質肥料や有機物の連用で高温に負けない土づくりを行うことが重要だと呼び掛けました。



高温障害対策について講演する
金田学部長



農政講演会



県の様々な農業施策について
講演いただきました

同日、農政講演会を開催し、秋田県農林水産部の斎藤了部長が「秋田県における農業施策の展開」と題して講演。本県農業の特徴や担い手確保への対策、園芸メガ団地やオリジナル品種の展開による産地育成などの取り組みを解説していただきました。